

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会
平成 23 年度 津波防災対策検討ワーキンググループ 会議録（要旨）
第Ⅱ部 Bグループ

1. 概要

- 1) 開催日時 : 平成 23 年 10 月 13 日 (木) 15:00 ~ 16:30
- 2) 場 所 : 函館開発建設部 地下会議室
- 3) 出席者 : 別表 に記載
- 4) 議 事 :
 1. 開 会
 2. 挨拶
 3. 出席者紹介
 4. 議 事
 - (1) ワーキンググループの目的・検討内容について (資料-1 参照)
 - (2) 東北地方太平洋地震津波時の課題と対応について (資料-2 参照)
 - (3) 津波警報等発表時の国道通行規制について (資料-3 参照)
 - (4) 意見交換
 - 津波警報等発表時の通行規制について
 - 情報提供・情報共有について (資料-4、
 - 各自治体の避難勧告・指示と住民避難の現状について 資料-5 参照)
 - まとめ
 - (5) その他 (委員、実務担当代表者一覧等参照)
 - 委員、実務担当代表者一覧について
 5. 閉 会

2. 配布資料

- ・ 次第、出席者名簿、座席表
- ・ 資料-1 ワーキンググループの目的・検討内容について
- ・ 資料-2 東北地方太平洋地震津波時の課題と対応について
- ・ 資料-3 津波警報等発表時の国道通行規制の基本方針について
- ・ 資料-4 津波対応図 (案) (1/16-16/16)
- ・ 資料-5 津波対応図 (案) (全域版)
- ・ 渡島・檜山地方道路防災連絡協議会 委員、実務担当代表者一覧、災害時等連絡先一覧

3. 議事内容

3-1. 議事1 ワーキンググループの目的・検討内容について

(説明項目)

- ・実施目的・内容、意見交換での確認事項・実施概要、参加機関・グループ分けについて

(質問・意見等)

○特に質問・意見はなかった。

3-2. 議事2 東北地方太平洋沖地震津波時の課題と対応について

(説明項目)

- ・自治体への主なヒアリング結果について

(質問・意見等)

○特に質問・意見はなかった。

3-3. 議事3 津波警告等発表時の通行規制箇所・区間の考え方(暫定)について

(説明項目)

- ・津波浸水想定区間の区分
- ・国道の津波浸水想定区間
- ・津波警報等発表時の通行規制区間・箇所の考え方(暫定)

(質問・意見等)

(森町) 大津波発生から避難指示までの時間はどの程度か。R5を使わなければ避難できない。避難(避難路の確保、避難誘導)が前提ではないか。

(森町) 津波発生から到達までの時間を考えているか。

3-4. 議事4 意見交換(Bグループ)

①大津波・津波警報発表時の通行規制について

(質問・意見等)

(福島町) 3.11には特に混乱はなかった。

(知内町) 3.12 函館バスから通行規制について問い合わせがあり、道路事務所に照会したら、通行規制は掛けているが通行はできるとの回答で混乱があった。住民からも、規制箇所に人がいないので車は通れるとの情報。規制情報のFAXは入ったが、どこに看板があり、どこに規制要員がいるのか分からなかった。どこに問い合わせすると正確な情報が入手できるのか。

(函館開建) 確かに3.11の際には情報板だけで、人も立っていなかったため通られる状況だった。今後は、規制人員を配置するほか、警報発令時の規制区間を事前に情報提供する予定。規制を掛けても、通行止め区間の中はフリーになってしまうことも住民等に事前に周知する必要がある。

- (木古内町) 大きな混乱はなかった。ただ、通行止めとの情報がありながら、通行できるという情報はあった。
- (北斗市) 通行規制の問い合わせがあった場合には、規制が掛かっている旨を回答したが、車は普通に通っていた。6mの警報に対し実際はあの程度で済んだが本当に来ていたらと考えると、規制方法や情報に疑問が残った。
- (七飯町) 大きな混乱はなかった。ただ、落部 IC～八雲 IC 間は通れるのかという問い合わせが多く、通行止めのはずの国道5号が普通に通行できているという問い合わせに対しては、回答に困った。
- (函館開建) 今後に向けては高速道路も伸びるので、案内も含め改善したい。
- (函館市) 開建や警察からも連絡員が来てくれて連携があったが、現場では連携が十分にできなかった。乗用車がフリーで通行できるのに対し路線バスは規制されたりしたため、苦情の対応に苦慮した。災害時の道交法、道路法での規制等について、関係者で確認しておく必要がある。
- (松前警察) 通行止めのはずだが、車が普通に走っている、通っていいのか？という問い合わせの回答に苦慮した。
- (木古内警察) 同様。
- (函館西警察) 浸水地域で交通規制を掛けたが、抜け道から中に入ってくる車があり混乱があった。規制の連携もうまく行かなかったという印象。
- (函館中央警察) 住民としては、目の前の道路で何でも起きていないのに規制が掛けられていることに納得できない。これをどうするかが問題。
- (函館建管事業課) 避難道路としての役割もあり、今回は道道の規制は掛けなかった。今回は大津波警報であったが、人員を配置することは作業員の人命にも係わることである。規制の考え方については、現在本庁で検討中。
- (函館市) 避難勧告の対応で交通規制に手が回らなかった。浸水エリアには警察や消防が立ち入りを規制した。今回のWGは3.11がきっかけで出来たのか？
- (函館開建) 特措法をきっかけとして、平成20年3月より開始。
- (函館市) 今回の規制図提示の趣旨は？
- (函館開建) 今回の規制図は、国として考えた警報発表時の交通規制案であり、今後関係機関と調整し、事前の情報として共有を図りたい。

②情報提供・情報共有について

(質問・意見等)

- (知内町) テレビの情報が早いので情報に関して混乱はなかった。テレビ等では、広域的な津波情報は入手できるが、地元の潮位はどうなんだ？という住民からの問い合わせが多かった。
- (北斗市) F A Xで図面も付いた情報は有効なので続けて欲しい。ただし、大震災になるとF A Xも電話も必ず届くとは限らない。事前に大津波警報や津波警報時の通行規制区間を決めておいてもらえれば対応もしやすい。
- (七飯町) i F A Xで入ってきたので状況は分かった。ただし、規制後の情報が逐次入ってきたため、情報が多く整理できなかった。

(函館市) 情報は逐次入ってきたが、適切に処理はできなかった。警察からの連絡員の派遣は今後行って欲しい。

(函館西警察) 連絡員を派遣して情報を入手していた。防災無線があったが活用されていたのか？

(函館市) 防災無線は予備であり、情報は連絡員を通してやり取りしていた。合併した地域との情報連絡のため衛星電話も確保している。

(北斗市) 道路に付いているカメラの画像をローカル情報として提供できないか？

(函館開建) 必ずしも海側や沿岸部が写っている訳ではない。カメラ画像は防災WANにより各自治体で閲覧は可能。

(北斗市) 道路沿いに海拔表示があるが、できれば増やして欲しい。

(函館開建) 函館市と北斗市は、開発局が津波アクションプログラムで実施した。今後、施設整備の拡充の可能性はある。

③各自治体の避難勧告・指示と住民避難の現状について

(質問・意見等)

(函館市) 避難勧告の判断は、対策本部で行っている。津波警報が出たとしても浸水想定区域の有無により避難勧告の判断は違うと思う。

(木古内警察) 福島町では通行規制を実施したが、警察としては解除の基準が分からない。今回、大津波警報から津波警報に変わった時点で解除になった。解除の基準を明確にするべき。

(函館開建) 北斗市では先行的に取り組んでいると思うが、どんな状況か。

(北斗市) 避難計画の中では、津波警報で避難勧告、大津波警報で避難指示。解除については逆パターンになる。今回も自治体間で避難勧告の解除などでズレがあった。当市の考えとしては、避難情報の出し方で連携が取れた方が良く考えている。

(函館開建) 確かに住民の立場で考えるとテレビ等で得られる津波警報情報が避難情報に連動した方がわかりやすいかも知れない。また、潮位計やカメラなど津波の状況が把握できるようにしておくことも必要だと思う。

以上

渡島・檜山地方道路防災連絡協議会
 平成 23 年度 津波防災対策検討ワーキンググループ
 第Ⅱ部 Bグループ 出席者

グループ	種別	機関名	部署	役職	参加者名
B	道路管理者	函館開発建設部	工務課	課長	早坂 保則
				上席専門官	中野 幹夫
			函館道路事務所	事業専門官	小尾 稔
			江差道路事務所		欠席
			事業室 事業課	室長	森川 晃宏
			松前出張所	次長兼施設保全室長	金澤 万亀夫
	警察	北海道警察 函館方面本部	函館中央警察署	企画・指導統括官	高井 俊之
				警備係長	石橋 賢治
			函館西警察署	警備課長	佐々木 博之
				警備係長	河本 信二
			函館西警察署	規制係長	鶴浦 透
			木古内警察署	警備係長	佐藤 敬一
				交通係長	大澤 昌昭
			松前警察署	警備主任	佐藤 公平
		交通係長	伊藤 晃		
	自治体	函館市		参事	武田 忠夫
				主査	藤野 哲哉
				道路建設課主査	田中 律好
				維持課主査	大内 尚哉
		北斗市		係長	天満 浩之
				防災囑託員	川岸 実
		七飯町		囑託職員	熊谷 清勝
		木古内町		行革・防災担当主査	尾坂 尚人
知内町		主事	南 一貴		
福島町		主任	吉澤 裕治		
オブザーバー	渡島総合振興局	地域政策部 地域政策課	主査(防災)	須佐 公一	

9 機関組織 25 名